

ほのぼのせや

www.seyaku-shakyo.jp

あなたの町の地区社協



阿久和南部地区社協 障がいのある方も 住みやすい地域をめざして

平成25年度より「障害児者・支援者ネットワーク」を立ち上げ、障がいのある方も地域の防災訓練へ参加することで、施設への理解や障がいのある方を含めた地域の見守りについて考えてもらえるよう働きかけてきました。
現在は阿久和南部地区内にある全ての障がい関係施設・グループホームがネットワークへ参加いただけるようになりました。話し合いの中で地域との情報共有を行い、ネットワークの輪が広がってきています。

瀬谷第一地区社協 高齢者サロン「ふくわ会」



毎月第2水曜日、1人暮らしの高齢者を対象に相互のふれあいと懇親を目的に開催しています。参加者は平均40名で、カラオケやゲーム、演奏会など毎回趣向を凝らしたプログラムを実施しています。ボランティアの名司会で進行するプログラムで、会場は参加者の皆さんの笑顔や笑い声がっぱいで、楽しい一時を過ごしています。

瀬谷第四地区社協 第四地区のきずな



災害は何時起こるかわかりません。日常の見守り活動の取組と連携した災害発生時の支援体制づくりに連合自治会と一体となって取り組んでいます。
高齢者の支援として女性のボランティア活動や引きこもりがちな高齢者が自由に集まるサロン等での交流を進めています。第3期地域福祉保健計画では子ども、障がい者の支援についても取り組めるよう話し合いを進めています。

平成27年度 ほのぼのせや ふれあい助成金 132団体に総額8,123,000円を助成しました。

この助成金は、みなさまからの賛助会費・共同募金・善意銀行などを活用して、地域福祉の活動を応援しているものです。

A:市民参加による地域福祉推進事業助成	お仲間サロンひなたぼっこ	57,000	MIX-F-C	68,000	リ・ブックセヤ	38,000
配食サービス「たんぼほの会」	サロンふらっと宮沢	57,000	言葉を楽しむ会 こたま	64,000	子育てサロンえむ	36,000
特定非営利活動法人「せや」	サロン瀬谷戸運管委員会	57,000	TUKIICHI	59,000	あくわきずみなみ	28,000
グループ・男の手貸します	ほっとサロンゆうあい	57,000	ホップステップ	40,000	ニッ糖第二 カローリング	28,000
配食サービス木曜の会	ゆうぎりサロン	57,000	ふらっと	86,000	アイエス	19,000
配食サービスいなほ会	ユートピアすこやかクラブ	57,000	C:福祉のまちづくり活動助成		元気塾Do	9,000
はあとの会	元気倶楽部	57,000	相沢ふれあい食事会	67,000	第一サロン	28,000
配食サービスかしわ会	ひなた山サロン井戸端	57,000	阿久和南部高齢者食事会	67,000	楽老障自治会見守り隊	28,000
配食サービス火曜の会	南部にここサロン	57,000	阿久和北部お楽しみ食事会	67,000	コスモサロン	28,000
宮沢配食部会	モボ・モガ 喫茶	57,000	瀬谷第一民児協あじさい会	67,000	瀬谷四丁目体操サークル	28,000
おとなり会	県二サロンさくら	57,000	すみれ会(ふれあい給食)	67,000	瀬谷第四地区女性のボランティア	25,000
相沢ふれあいサロンII	歌声ラウンジ宮沢	57,000	はつらつクラブ	67,000	D:障害者支援組織・障害当事者団体助成	
ここの会	サロンよってってA	51,000	ゆうスリー	67,000	あじさいの会	43,000
M-Kサークル	サロンよってってB	51,000	つどいの広場「ほっとスペース」	67,000	瀬谷区聴覚障害者協会	43,000
ゆうゆうサロン富士見台	サロン中屋敷	51,000	瀬谷区手話サークル杉の会	67,000	瀬谷区障害者団体連絡協議会	43,000
阿久和暮らしハビリはまなすの会	楽老ハイソ自治会 楽老サロン	49,000	本郷いきいき体操ピッコロ会	67,000	ジャンプ	43,000
宮沢ひまわり会	おさそい会	43,000	横浜にし・おやご劇場わいわい	67,000	瀬谷区肢体障害者福祉協会	39,000
あやめ会	サロンスプリングガーデン南瀬谷	41,000	瀬谷マシツククラブ	60,000	E:その他福祉団体及びボランティア活動の連絡会助成	
サロン「北の宿」	ふれあいサロン(左馬)	38,000	特定非営利活動法人 あすなろ	67,000	瀬谷区老人クラブ連合会	124,000
にここ会	サロン・スマイル	38,000	本郷あじさい会	67,000	瀬谷区障害者ふれあい交流会	115,000
ミニデイほのぼのサロン	ほっと三ツ境	36,000	NPO法人 楽竹会	60,000	瀬谷区子育て支援連絡協議会	107,000
もみじの会	サロン「なかよし」	33,000	むつみ会	57,000	瀬谷ふれあい食事連絡会	43,000
阿久和北部連合サービスさくらんぼの会	喫茶だんらん	23,000	Star Dust Club	60,000	横浜市母子寡婦福祉会 瀬谷支部	43,000
喫茶ハンバー	うたえひろば	19,000	手話サークルさかいの会	60,000	F:子育てグループ	
楽友会	誰でもサロンー福	16,000	瀬谷区傾聴ボランティアエがお	60,000	すくすく	24,000
ひよこサロン	サポートクラブ ニュータウン	16,000	国際交流Seya	60,000	ピッコロ	24,000
カフェ・すずらん	本郷サロン	48,000	瀬谷区知的障害理解啓発グループant mama	60,000	子育てサークル たんぼほ	24,000
サロンさわやか	楽々金曜会	43,000	せや布えほんくらぶ	60,000	子育てサークル だるまの会	17,000
瀬谷どんぐりの会	B:障害当事者活動助成		こどものもりプレイパーク	60,000	ありんこくらぶ	19,000
ふれあいサロン下瀬谷	ほっぺ	86,000	瀬谷北部あじさい会	51,000	ほご・あぼこ	14,000
金曜会	障害者青年学級 新鮮組	77,000	ピンチをチャンスに!減災共助の会	51,000	G:会場費特別加算	
サロンたんぼほ	コアラの会	77,000	交流フェスティバル実行委員会	50,000	にここ会	19,000
音声訳グループつくしの会	和太鼓 ひびき	76,000	瀬谷まほろば	49,000	はつらつクラブ	19,000
アイの会	三ツ境MAX	69,000	にほんごせや	38,000	特定非営利活動法人 あすなろ	19,000
相沢ふれあいサロンI	インディース	69,000	かたり部「わ」の会	38,000		

いざという時、障がい者や高齢者の方々とどのように接すれば良いのでしょうか?

防災特集:地域での関係づくりを考える



9月は防災月間!多くの地域で防災訓練が行われています。瀬谷区では、「顔の見える関係づくりから災害時の助け合いへ」として、各地域で日頃から声を掛け合い、災害発生時に助け合うことのできる関係づくりを進めています。
災害発生時に、地域の障がい者の方や高齢者の方をどのように受け入れ、何を準備すればいいのかわからないか、今回の特集を参考に、みなさんで考えてみましょう。



地域の取り組みを調べてみました!!

■地域防災拠点では

三ツ境小学校防災拠点では、「知ること」「体験すること」「備えること」を合言葉に、活動を重ねてきました。
近年では、地域ケアプラザ・区社協・民生委員児童委員のみならずと連携して活動しています。実際の訓練では、車いす体験コーナーや黄色と緑のバンダナの取り組み、せや活動ホーム太陽が訓練に参加する際に民生委員児童委員が車椅子移動を補助、知的障がいの理解啓発活動をしているant mamaによる講演会など、障がい者や支援が必要な方への取り組みも進めています。

■地域にはこんな団体も!

ピンチをチャンスに! 減災共助の会
災害時、なんらかの手助けが必要な人がそばにいたら、皆さんはどうしますか?きっとなんとかしてあげたい気持ちと、どうすればいいかわからないという気持ちが、交錯するのではないのでしょうか。だからこそ、要援護者発で支援のポイントをお伝えすることが、いざという時のパニックを軽減すると考え、啓発活動をしています。
(ピンチをチャンスに! 減災共助の会 代表 金子美津子氏)



避難してきた高齢者や障がい者の方の介助者が、黄色と緑のバンダナを活用して訓練していました。



ピンチをチャンスに! 減災共助の会(ピンチャン会)とは
災害時に大きな被害を受けやすい高齢者・乳幼児・妊産婦・障がい者・外国人などが日頃から周辺と連携協力し共に助け合うことにより、災害による被害をできるだけ小さくする取り組み「減災」を目指して活動しています。地域で啓発活動も行っていますので、チラシ等ご覧になられた際は、ご参加ください。

せやまる・ふれあい館

●アクセス
相鉄本線「三ツ境駅」下車 徒歩12分
または、三ツ境駅北口より相鉄バスにて「中丸」バス停下車 徒歩約5分

●駐車場
26台 ※障がい者用駐車場2台
※台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

開所時間

■横浜市瀬谷区社会福祉協議会 月～金曜日/9:00～17:00
■瀬谷区ボランティアセンター 月～土曜日/9:00～17:00
■瀬谷区福祉保健活動拠点「パートナーせや」 月～土曜日/9:00～21:00 日曜日・祝日/9:00～17:00(年末年始を除く)

編集後記

前回の広報より参加させていただいています。今回の企画は、災害時の状況を把握したり避難場所への移動が困難など、障がいを持った方々の声をとりあげました。当事者や家族から直接お話を聞かせていただきました。困っていることや要望など生の声を聞くことで学ぶことがたくさんありました。災害はいつ起こるか分かりません。普段からなじみの関係をつくるためのコミュニケーションの大切さを痛感しました。(飯塚 陵子)

委員長 ●遠山 丈晴(瀬谷第四地区民児協)
副委員長 ●紅林 千津子(相沢地区民児協)
林 茂(南瀬谷地区社協)/米倉 令二(瀬谷区障害者団体連絡協議会)
飯塚 陵子(ワーカースわくわく)

10月1日から「赤い羽根共同募金」が始まります。今年も皆さまのご協力をお願いいたします。

障がい者の 方々の声!!

重度身体障がい者の方は…

自分で動くことができないので、**まずは居場所に気づいてもらうことが一番大切**。防災拠点に移動するより、自宅で過ごすことができればありがたい。

重度身体障がい者の家族の方は…

災害時に障がい者を受け入れてくれる場所を確保し、その情報発信をしてくれるとありがたい。その拠点に看護師がいるかなど医療対応ができるのかも情報として必要。

精神障がい者の方は…

精神障がい者は薬を毎日欠かさず必要としているが、交通手段がなくなった場合に手に入れることができない。**災害時の薬の入手手段を整えてほしい。**

精神障がい者の方は…

非常時にパニックになり、今まで抑えられていた病気の症状が出てしまったときに、どのような援助が受けられるか知りたい。**医師、もしくはカウンセラーなど、話を聞いてくれる人がほしい。**

知的障がい者の方は…

ゆったりした言葉や動きの人もいるので、**個々人のペースに合わせて対応をしてほしい**。不確定な見込みや予定など情報量が多いと混乱するので、**確定したことを教えてほしい。**

聴覚障がい者の方は…

連絡事項がある時に放送などでは分からないので、**紙で貼りだしてほしい**。また手話ができなくても筆談できるので、**情報を教えてほしい**。手話をできる人が名札や印をつけてくれると助かる。

視覚障がい者の方は…

一人だどこへ移動したらよいか分からないので、**家から避難所まで誘導してほしい**。トイレや配給物資の調達などでもお手伝いしてほしい。**障がい者が過ごしやすい環境の避難所を整えてほしい。**

施設の方は…

町内会、自治会に**地域に障がい者の施設があること**(所在地、障がいの区分、人数程度のこと)を知ってほしい。日頃から地域の方と少しでも接することで、声掛けをためらうことのないよう相互理解を深めたい。

作業所の方は…

作業所でも年に2,3回の防災訓練をしているが、**地域との連携の必要性を感じる**。

グループホームの方は…

グループホームとして防災訓練に参加しているが、**地域と接する良い機会となっている**。

子育て世帯・ 外国人の方々の 声

子育て世帯の方は…

子どもを連れて荷物を抱えて移動できるか不安なため、**移動時のサポートをしてほしい**。配給物資をもらうために並ぶ際に子どもを預かってくれたり、物資を配りにきてくれると助かる。

子育て世帯の方は…

避難所で生活する際、**子育て家庭が集まるような区割りにしてほしい**。子ども同士が遊べたり、泣き声を気にせず過ごせる方が、子どもも親もストレスが少なくなると思う。

外国人の方は…

住んでいる地域の防災訓練に参加しているので、あまり心配はしていない。また緊急時は団地の住民で行動することになると思うので、不安は少ない。

外国人の方は…

分かりやすい日本語で話しかけてほしい。避難所がどこにあるか、困ったときは誰に聞けばよいか、学校との連絡方法など分からないことが多いので、**手引きがあると助かる**。

高齢者の方々の声

戸建てにお住まいの方は…

家や塀が倒れて避難が困難になることが心配。また、情報が届かず、被害状況などがわからなくなることも心配。**班の人たちの所在が確認できるよう、日頃のお付き合いを大切にしたい**。

集合住宅にお住まいの方は…

若い人たち(中学生など)が付き添って**適確な誘導をしていただきたい**。集合住宅の排水管等が使用できなくなった時に、**調理やトイレ等共同で利用できるものを用意していただく必要がある**と思う。

皆様の声を参考に考えてみました!!

■ 予め準備しておきたいもの

① 黄色と緑のバンダナ

各地域防災拠点に100枚ほど保管されています。支援してほしい人は黄色、支援できる人は緑色のバンダナをつけ、目印にします。

② コミュニケーションボード

障がいのある人が、避難場所などで過ごすときに周囲の方々が必要な情報をやりとりするための絵記号等を掲載しています。「横浜市社会福祉協議会障害者支援センター」のホームページで、ダウンロードしたりオリジナルのボードを作成することができます。



防災イベントに参加してみました!!

防災特集:地域での関係づくりを考える

いざという時は、自分が頼り! 減災行動 ワークショップ 体験報告

日時●7月31日(金) 10:00~15:00
場所●瀬谷消防署 訓練室等(瀬谷区総合庁舎1階)
主催●Seya防災ネットワーク分科会
ピンチをチャンスに! 減災共助の会

避難所開設と受付の訓練、オリエンテーションでは、地震発生時の避難場所、飲料水の備蓄促進・応急給水拠点、トイレバックの使用等の説明を受けました。避難所では、段ボールベッドの組み立てや、段ボールを使用した家族のスペースを作る体験をしました。

昼食時は配布訓練と試食をし、また、参加者が持参した「非常用持出し袋」の情報交換、意見交換もありました。さらには区内の施設からの参加もあり、子どもたちの起震車体験もありました。それぞれの場面において、約70人の参加者が協力して避難所訓練を行いました。

今回の避難所を再現したワークショップへの参加によって、災害時の心構えや様々な技術を学ぶことができました。



東日本復興支援 ボランティア バス報告 第8弾

平成27年
7月31日(金)~8月2日(日)
2泊3日(車中1泊)
参加34名
(うち高校生14名・小学生5名)

8回目の瀬谷ボランティア バスは、小学生が初参加!



水揚げの後、小学生と高校生は「瀬谷丸」に乗せてもらって大槌湾内を一周。ひょっこりひょうたん島のモデルになった蓬萊島も間近で見ました。



金石市の山奥の清流で、瀬谷と金石の小学生と一緒に川遊び。お互いすぐに仲良くなって最後はみんなずぶ濡れ!

今回のボランティアバスは、新たな取り組みとして、瀬谷区の子ども会と共催し、5人の小学生が参加し、釜石市の仮設住宅の子ども達と一緒にじゃがいもほりや川遊びを楽しみました。また、大槌町を訪れ、瀬谷区民から寄贈された漁船「瀬谷丸」による魚の水揚げを見学し、小学生と高校生は「瀬谷丸」に乗せていただきました。

その後、以前からお伺いしている仮設住宅で、「瀬谷丸」から分けていただいた魚と子どもたちが採ったじゃがいもを現地の方と一緒に調理し、食事をしながら交流会を行いました。釜石高校の生徒が今回も4名ボランティアとして参加し、調理の手伝いやかき氷づくりなど、瀬谷区の方たちと一緒に楽しみながら活動しました。



瀬谷区の七夕灯籠祭り実行委員会からいただいた灯籠にみんなで絵付けをし、食事の時に点灯しました。灯籠の温かい火につつまれて会話も弾みました。

仮設住宅での調理の様子。釜石高校の生徒と二俣川看護福祉高等学校の生徒が仲良く一緒に野菜を切っていました。男子は外で魚さばきに苦戦中!



第3期瀬谷区地域福祉保健計画

みんなでつくる みんなのしあわせ

瀬谷区地域福祉保健計画は、暮らしやすいまちづくりを目指した区民の皆さん一人ひとりに関わりのある計画です。瀬谷区では第1期、第2期を通じてそれぞれの課題解決のために様々な活動や取組が行われてきました。平成28年度を初年度とする平成32年までの5年間の第3期計画を現在策定中です。

地域福祉保健計画は、地区連合エリアの12地区ごとに作られる「地区別計画」と、地区別計画を支え、瀬谷区全体の共通課題に取り組む「全域計画」から構成されています。



(左) 全域計画(中間案)についての区民意見募集(募集は締め切っています)
(右)「地区別計画策定・推進にあたって」の冊子

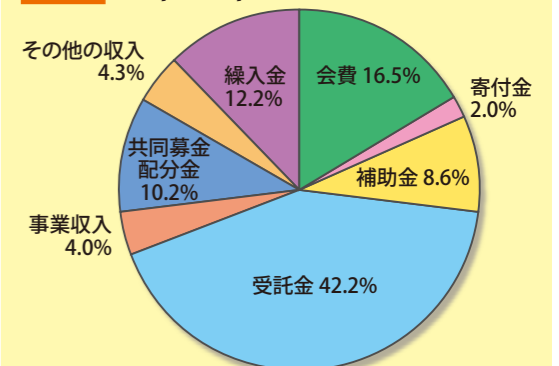


平成28年2月27日(土)に瀬谷公会堂において、策定された第3期計画のシンポジウムを開催する予定です。

平成26年度 瀬谷区社協 決算報告

皆様からのご協力を受けて、瀬谷区社協は様々な事業を展開しています。今後ともご指導のほどよろしく申し上げます。

収入 61,759,235円



支出 58,058,671円

